

## 創造アイデアロボットコンテスト 大阪市中学生大会 大阪独自部門

### 1. ルール

- ①自律型ロボットでライトレースし、より多くのアイテム（ピンポン球）をゴールに入れる
- ②スタート前に何個のアイテムを搭載するかを宣言する（最大20個）
- ③スタートの合図でアイテムをロボットにセットする【ストップウォッチ スタート】
- ④スタート後はロボットに触れてはいけない
- ⑤保持したアイテムをゴールに投入完了後「ゴール」を宣言する【ストップウォッチ ストップ】
- ⑥アイテムがゴール外に落ちた場合はカウントしない

#### 確認事項

- ①ロボットがラインを外れても復帰すれば競技は続行するが、「減点1点」とする。ラインを外れるたびに減点される。
- ②ロボットがラインを大きく外れた場合、またはコートから脱輪してラインに復帰できない場合は「失格」とする。  
そのままゴールしても「失格」である
- ③競技中にロボットがラインの右側または左側から完全に離れてしまった時「ラインから外れた」という。  
審判がコート上空から見てロボットの一部でもライン上にあれば減点にはならない
- ④ラインから外れたかどうかの判定は審判が行う
- ⑤故意にラインを大きく外れ復帰できるようなプログラムはライトレースとは認めない（ショートカットは認めない）

### 2. 競技の判定

- ①ゴールに入ったアイテム数が多いチームが上位となる。ただし、減点がある場合はアイテム数から減算する
- ②アイテム数が同じ場合、少ない（早い）時間でゴールしたものが上位となる
- ③それも同じ場合はアイテムを20個保持した状態でスタートし、早くゴールできたチームを上位とする

### 3. ロボットの規格

- ①自律型であること。メーカーは問わない。自作でもよい
- ②スタート前は250×250×250mmの大きさに収まること
- ③スタート後は展開して大きくなって構わない

### 4. コート（別図参照）

- ①コンパネに白色ベニヤ板を貼り付ける
- ②黒色ビニルテープでコースを作る（ラインは大会当日に発表する）
- ③スタート位置、ゴール位置を青色ビニルテープで表示する
- ④ゴールをコンパネに固定する（厚手の両面テープ）

### 5. 競技に必要なもの

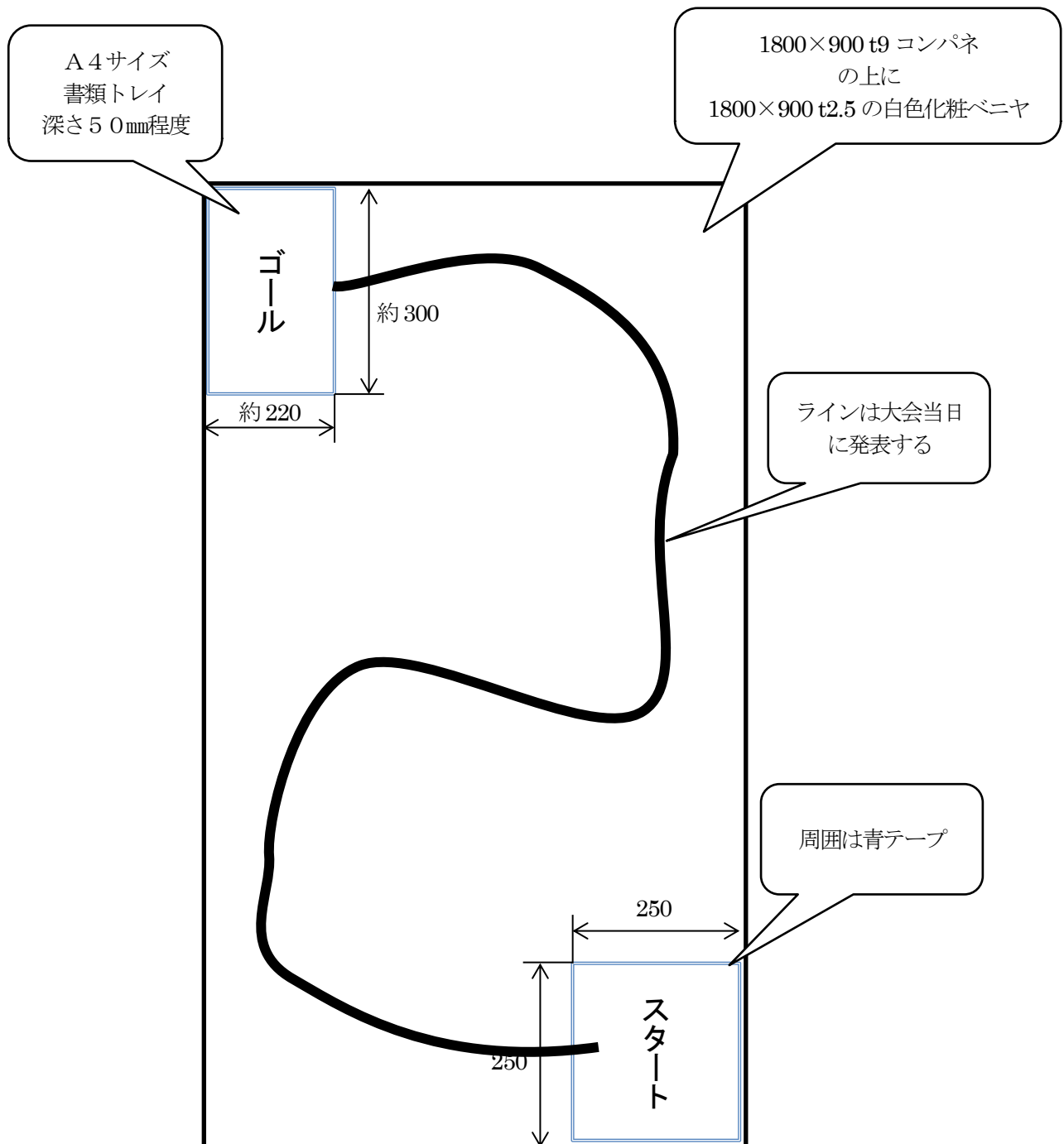
- ①コンパネ（3×6 t9）1枚
- ②白色化粧ベニヤ板（3×6 t2.5）1枚
- ③ゴール（A4サイズの書類トレイ、**百均にありそうなもの**）
- ④ピンポン球20個（材質・色・重さが異なったり、大きさに多少の誤差があっても対応できること）
- ⑤黒色ビニルテープ
- ⑥青色ビニルテープ
- ⑦厚手 両面テープ

### 6. チーム構成

- ①1チーム2名までとする
- ②選手1名、アシスタント1名とし、競技に参加できるのは選手のみとする
- ③競技中にロボットに触れることができるのは選手のみとする
- ④競技中、アシスタントは計測等の補助的な活動はできる
- ⑤競技中、アシスタントはロボットに触れることはできないが、調整時は選手と協力して作業しても構わない

## 7. コート (例)

- スタート位置、ゴール位置は変わらない
- ラインは大会当日に発表する (曲線・直線・直角あり、鋭角なし)
- ラインは大会ごとに変更する



※ルールについてのご質問・お問い合わせは、下記へメールでお願いいたします。

jg3gdw@gmail.com (村上@歌島中)